

## 非器質性胸痛の後方視的検討

### 1. 研究の対象

2005年4月から2021年3月までの間に、胸痛を主訴として当科を受診された15歳以下（受診時年齢）のお子さん。

### 2. 研究目的・方法

痛みを主訴に小児科外来を受診するお子さんは多いのですが、その多くは頭痛や腹痛であり、胸痛を主訴に来院するお子さんは少数です。このため、成人と違い、子どもの胸痛についてはその仕組みや原因がよくわかっていません。また、精密検査を行ってもはっきりした原因が不明であった場合、「心因性胸痛」などといった心理的要因によるものとみなされる傾向があります。しかし、本当に心が原因なのか、単に検査で異常がなかっただけなのか、その差はきちんと検討されているとはいえないのが現状です。

そこで、これまでに胸痛で当科を受診したお子さんのカルテを過去にさかのぼって調査することにより、子どもの胸痛の臨床像を明らかにし、どのような原因があるのかを検討することにしました。また、小児科では起立性調節障害という病気で頭痛や腹痛をきたすお子さんが多く、この病気に胸痛を合併することがよくあります。しかし、起立性調節障害と胸痛との関係はよくわかっておらず、そのようなことを検討した過去の論文もありませんので、この点についても今回調べることにしました。

研究実施期間： 倫理委員会承認日から2022年4月30日まで

### 3. 研究に用いる情報の種類

お子さんのカルテ番号、年齢、性別、病歴、症状

お子さんに行われた各種検査の結果（血液検査、起立試験、心電図、負荷心電図、ホルター心電図、胸部X線、心臓超音波、冠動脈造影CTのうち、お子さんに行われたもの）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方が拒否の意向を示された場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 研究責任者：

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 小児科 犬塚 幹